

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第70号	
事故等種類	衝突（岸壁）	
発生日時	平成24年6月2日 08時39分ごろ（日本時間）	
発生場所	パラオ共和国マラカル港1号岸壁 （概位 北緯07° 19.8′ 東経134° 27.5′）	
事故等調査の経過	平成24年6月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	学術研究船 ^{はくほう} 白鳳丸、3,991トン	
船舶番号、船舶所有者等	131144、独立行政法人海洋研究開発機構	
乗組員等に関する情報	船長、一級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船尾部に凹損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか35人が乗り組み、研究員31人を乗せ、平成24年5月13日京浜港東京区を出港し、南太平洋マリアナ海域における調査を終え、6月1日パラオ共和国マラカル港2号岸壁に着岸した。</p> <p>本船は、翌2日、マラカル港2号岸壁から1号岸壁にシフトすることになり、船長が、操船を指揮し、機関及び船首尾のスラスタを使用して1号岸壁に着岸作業中、1号岸壁までの距離が約15mとなったとき、船首が右に振られるようになったので、船首尾のスラスタで1号岸壁から離そうとしたが、08時39分ごろ本船の左舷船尾部と1号岸壁端とが衝突した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：風浪 1、うねり なし</p>	
その他の事項	本船の喫水は、船首約5.27m及び船尾約5.93mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、パラオ共和国マラカル港1号岸壁に着岸作業中、操船が適切でなかったことから、左舷船尾部と1号岸壁端とが衝突したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、パラオ共和国マラカル港1号岸壁に着岸作業中、操船が適切でなかったため、左舷船尾部と1号岸壁端とが衝突したことにより発生したものと考えられる。	